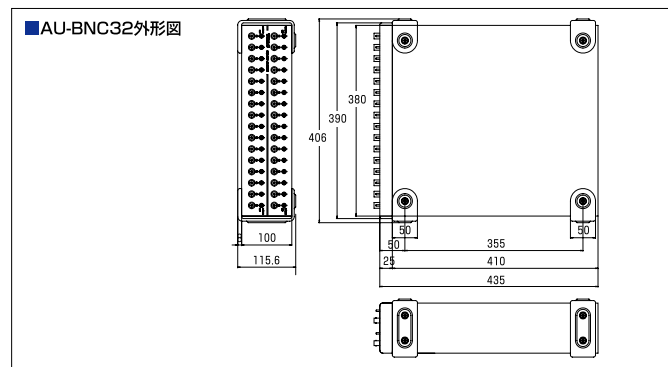
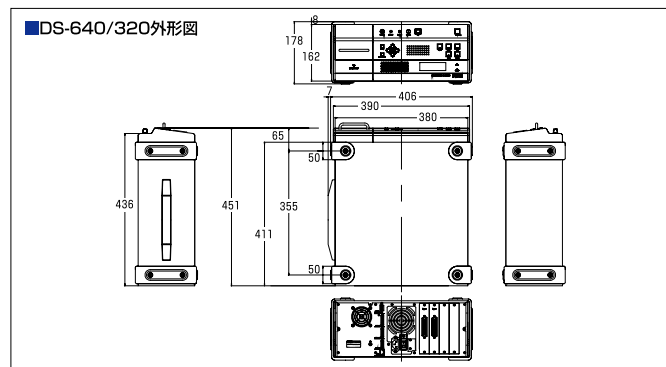


DSシリーズ仕様(記録時)	
入力形式	平衡入力(不平衡入力との切り替えはオプションBNCユニットにて)
入力モード	AC結合/DC結合/IEPE(センサ供給電源24V DC/4mA)
入力レンジ	±0.1V, 0.2V, 0.5V, 1V, 2V, 5V, 10V, 20V 約±130%フルレンジ
アンチエイリアシングフィルタ	1MHzサンプリング時 アナログフィルタ 400kHz(-3dB) 6次バターワース 512kHzサンプリング以下ではスイッチドキャパシタ方式: サンプリング周波数の1/2.5(40%)にカットオフ周波数を自動設定 外部サンプリング設定時はOFF固定(ただし上記アナログフィルタは動作)
チャンネル数	2/4/8/16/32(64 DS-640Rのみ)の切り替え、ただし 1MHzサンプリング時最大16チャンネル、500kHz以下サンプリング時最大32チャンネル、アナログ再生は、500kHz サンプリング×16チャンネルを上限とします。
周波数特性(±3dB)	ACモード時 0.1 Hz~400kHz DCモード時 DC~400kHz
変換分解能	16ビット チャンネル1のみ15ビットデータで、 LSB 1ビットはトリガなどの識別ビットとして使用(固定)
サンプリング周波数	1MHz/500kHz/250kHz/125kHz/62.5kHz/31.25kHz 400kHz/200kHz/100kHz/50kHz/25kHz 40kHz/20kHz 256kHz/128kHz/64kHz/32kHz 512kHz/409.6kHz/204.8kHz/102.4kHz/51.2kHz/25.6kHz 40.96kHz/20.48kHz 384kHz/192kHz/96kHz/48kHz/24kHz ※500kワード以上で設定可 ※再生時最大サンプリング周波数500kHz
最大記録レート	16Mワード/秒(32MB/秒) 最大レートの場合は内蔵ハードディスクへの記録(最大レート時は内蔵ハードディスクフォーマット直後)
最大再生レート	8Mワード/秒(16MB/秒)(再生機使用時)
記録時間	記録チャンネルとサンプリング周波数設定に依存 例: 16チャンネル1MHzサンプリング時約70分 32チャンネル256kHzサンプリング時約2.5時間
ダイナミックレンジ	100kHzサンプリング±1Vレンジ80dB(記録時 Typical)
サンプリングスタート	内部、外部(TTL)
サンプリングクロック	内部、外部(TTL)
ストレージ	内蔵専用リムーバブルハードディスクドライブ×2(RAID0) 約140GB
本体操作機能	STOP/REC/START/PAUSE/EVENT
入力レベル表示	各チャンネルの入力状態をLED表示 無点灯: 入力レベル±5%未満 緑: ±5% to 約±50% 橙: ±51% to 約±125% 赤: 過大入力約±125%を超える
レベルトリガ	デジタルコンパレータ方式、エッジ方向選択可能
プリトリガ機能	あり
インタフェース	Ethernet 1000BASE-T
外形寸法	約 380(W)×162(H)×451(D)mm (突起部除く)
質量	約23kg(DS-320R)
電源	100V-230VAC 瞬停時動作バックアップ電池内蔵

DSシリーズ ラインアップ

DS-160R	16チャンネル記録モデル
DS-160RP	16チャンネル記録・再生モデル
DS-320R	32チャンネル記録モデル
DS-320RP	32チャンネル記録・再生モデル
DS-640R	64チャンネル記録モデル
DS-640P	64チャンネル再生モデル
AU-BNC32	32チャンネル拡張BNCユニット
PH-DS01	ハードディスクバック
PL-S1001	LX View波形表示・切り出しプログラム



注意 ●正しくお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。 ●仕様及び外観は、予告なく変更する場合があります。 ●この記載内容は2005年5月現在の内容です。 ●最新の情報は弊社までお問い合わせください。 ●記載の会社名および製品名はそれぞれの会社の登録商標です。

お問い合わせ先
ティアック株式会社 <http://www.teac.co.jp>
 情報機器事業部 BSビジネスユニット 営業部 営業1グループ
 〒180-8550 東京都武蔵野市中町 3-7-3 TEL 0422-52-5074 FAX 0422-52-1990
 名古屋営業所 営業1係 〒465-0093 名古屋市中東区一社 1-79 TEL 052-709-5077 FAX 052-709-5071
 第六名昭ビル2階
 大阪営業所 営業1係 〒564-0063 吹田市江坂町1-23-26 TEL 06-6330-0291 FAX 06-6385-8849
 ニッセイ江坂セントラルビル2階
 ・広島駐在 〒738-0053 廿日市市阿品台2-5-31 TEL 0829-39-7061 FAX 0829-39-7078
 ・九州出張所 〒841-0201 佐賀県三養基郡基山町小倉855-78 TEL 0942-92-6895 FAX 0942-92-6896
 ●技術的なお問い合わせ CSグループ TEL 0422-52-5074 FAX 0422-52-1990
 受付時間 9:30~12:00/13:00~17:00(土・日・祝日を除く)

このカタログの記載内容は2006年12月現在のものです。
 PRINTED IN JAPAN 1206 BSBU pdf R-009C



既設システムの高速度、効率的な収録システムへの移行を実現



1000BASE-T 16ビット、最大サンプリング周波数1MHz、最大16Mワード/秒の連続収録
DS Series
 Disk Recording System | DSシリーズ

16ビット、最大サンプリング周波数1MHz、最大16Mワード/秒、長時間連続収録

広帯域多チャンネルデータレコーダ

DS Series

Disk Recording System | DSシリーズ



広帯域・長時間収録、32/64チャンネル・スタンドアロンレコーダ

ディスクレコーディングシステムDSシリーズは、32/64チャンネルタイプで、内蔵専用リムーバブルハードディスクへ直接収録できるデータレコーダです。

1MHz×16チャンネル同時サンプリングで約70分
256kHz×32チャンネル同時サンプリングで2.5時間

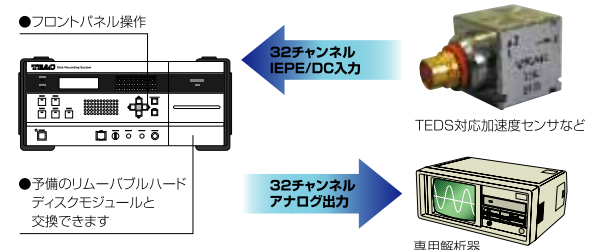
など、チャンネルあたり20kHzから1MHzのサンプリング周波数を設定でき、広帯域信号まで収録することができます。また、従来のレコーダやA/Dコンバータの仕様制限(サンプリング周波数、メモリー容量等の制限)により、短時間の記録しかできなかった高速現象を、多チャンネルでしかも長時間で収録することができます。



※記録レートは500kワード以上とします。
 ※再生時は最大500kHzとなります。
 ※再生時のサンプリング周波数とチャンネル数には制限があります。

解析側は既存システムを利用して、より高速の現象を捉えることが可能

アナログ出力を備えたスタンドアロンタイプの広帯域レコーダは、収録データをアナログ再生して既存解析システムで処理できます。入力アンプはIEPE (Integrated Electronics Piezoelectric) およびDC入力に対応しており、TEDS対応加速度センサからTEDS情報の読み取りが可能です。またアナログ出力アンプモジュールを搭載し、従来の広帯域レコーダの置き換えができます。



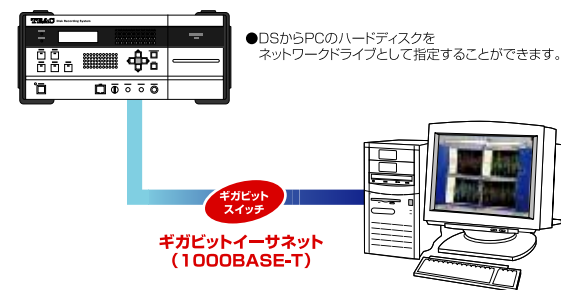
※最大再生レート8Mワード/秒。
 (最高のチャンネル数とサンプリング周波数の組み合わせ、例えば、1MHz×16チャンネル、500kHz×32チャンネル等で記録されたデータファイルはサンプリング周波数を低くして再生できます。500kHz×16チャンネルを上限とします。)

PCと接続しての設定、モニター、収録計測のネットワーク化にも対応

本体操作キーによる収録動作に加えて、PC側のハードディスクドライブを収録先ドライブとしてマウントして直接、設定、モニター、収録をブラウザ経由で行うこともできます。収録中のデータは、複数のPCからブラウザによりモニターでき遠隔監視システムの構築が容易です。また、PCのアプリケーションプログラムで収録されたデータを解析することで、実験結果を得るまでの時間の短縮による実験業務の効率化も実現しました。高スループットで記録された大量のデータをより早く解析工程へと転送するために、インタフェースとして**ギガビットイーサネット(1000BASE-T)**を採用し、収録されたデータファイル転送の高速化を可能にしました。

記録モード1 本体操作キーによる、内蔵リムーバブルハードディスクへの直接記録。

記録モード2 ネットワーク接続されたPCへの直接収録。



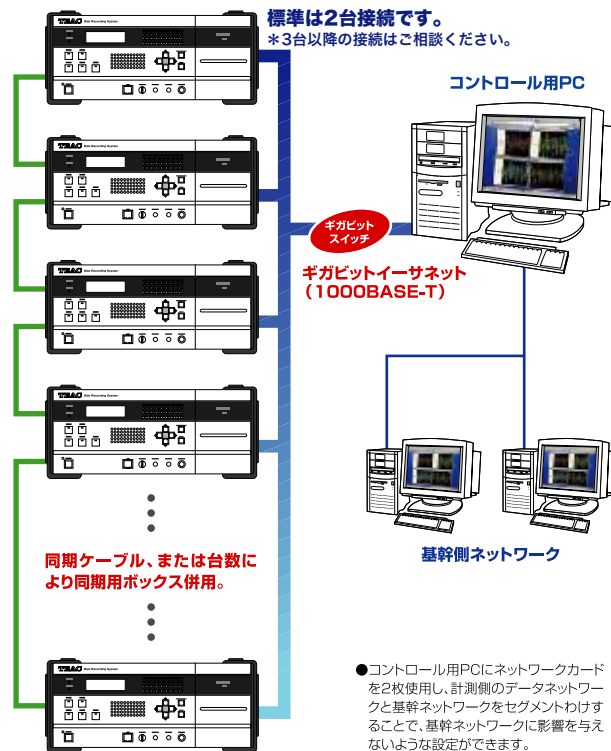
記録モード3 DS本体ハードディスクとネットワーク接続されたPCへの同時記録。

■内蔵ハードディスクに収録されたデータファイルはTEACデジタルレコーダ共通フォーマット(TAFFmat)に準拠したオープンフォーマットです。オプションのWave MonitorプログラムLX View(PL-S1001)により波形表示を行い、データの切り出しを行うことができます。

※使用できるネットワーク帯域により、PCへの直接収録レートは制限を受けます。
 ※最大記録レートでのPCへの直接収録はできません。

電圧出力型加速度センサ用アンプ内蔵大規模計測収録システム

最大入力64チャンネルの本体を複数台接続し、同期記録を行うことで、数百チャンネル規模の収録システムを構築することができます。入力アンプはIEPE (ICP[®])タイプの加速度センサを直結でき、多チャンネル収録システムにおいて外付けアンプを不要とし、コストの削減をはかることができます。また、TEDS対応のセンサを接続すると、センサからの感度情報を自動的に読み取り、ヘッダファイルに記録することができるため、大規模計測における感度入力の実験準備工数の削減をはかることができます。



※同期記録機能における異なるユニットでの同期精度は±1サンプリング以内です。

PCからの操作はすべてブラウザから

DSシリーズレコーダは、同一ネットワーク上のPCからブラウザを用いて設定やモニター、収録、データファイルの転送などの操作を行うことができます。また、収録後の大容量データの切り出しと転送を迅速に行うための、サムネール波形表示機能(エンベロープ波形データを収録後自動的に生成)も備えています。

DSの大容量データの表示に適した波形表示プログラム

大容量記録ファイルのデータ表示と切り出しに対応した、Wave MonitorプログラムPL-S1001LX Viewを用いて、迅速に効率よくPC上のDSデータファイルの切り出しを行うことができます。



- DSで記録されたデータファイルの表示
- データ切り出しTAFFmatファイルの生成(最大2GB)
- TAFFmatファイル生成後、UFF58、ATI、MATLAB、RPC3などのファイルへの変換
- 切り出し区間のFFTやX-Y表示(画面の表示範囲内での処理)
- 同期記録で収録されたファイルのマージ
- 切り出されたデータのASCIIファイル変換

Windows PCに保存したファイルのアナログ再生可能

PCに保存したDS記録データファイルを本体に転送することで、アナログ出力アンプ搭載モデルではアナログ再生を行うことができます。また、内蔵リムーバブルハードディスク上のデータは、ファイル単位での削除、クイックフォーマットや、米国防省方式に準拠したダミーデータを書き込み消去することによる完全消去が可能です。